

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かす。	運営推進会議は定期的に行っているが、出席者が少なく、家族の参加が少ない。家族側の意見や要望を受け入れやすい工夫を行う。	運営推進会議に家族が参加出来るように、アンケートやお手紙を配布して、参加や意見・要望を現場でのサービスの向上に繋ぎに行く。	6ヶ月
2	14	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。	高齢者に対する虐待がないように日頃より、虐待防止法・身体拘束の禁止等の掲示物等で意識付けを図って行く。	高齢者に対する虐待がないように日頃より、虐待防止法・身体拘束の禁止等の掲示物等で意識付けを図って行く。また、定期的に(1回/2ヶ月)虐待研修を行い、虐待防止を図っていく。	1ヶ月
3	23	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	自分の時間を大切にしながら人と交わりを保っていけるよう努めていく。	閉じこもり傾向のある入居者について、行事・レクリエーション等の参加を促し、入居者同士の交流がし易く成るように、スタッフが間に入りコミュニケーションやスキンシップを図って行く。	1ヶ月
4	15	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めて行く。	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めて行く。スタッフ一人一人のモチベーションを高め仕事に対する意欲を喚起する。	職員の個々の能力に応じて研修に参加する。スタッフ一人一人が目標や課題を持って現場でのサービスの向上に繋ぎに行く。	3ヶ月
5	35	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居開始時から重度化や終末期の対応に関して、関係者で話し合いを行い、方針の共有に努めている。状態の変化に応じて本人・家族の意向を大切にしながら、医療機関との緊密な連携に努めている。	現在、対象者はいないが今後を見据え内外部職員研修を通じて周知して行く方針。事業所で支援できる状態なのかについては医療機関との連携を図りながら事業所として対応できる範囲の中で検討していく方向である。	6ヶ月